

試験及び成績の評価・単位認定

試験は、学則に基づき、本学が学生に対して授業科目所定の課程修了を認定する方法です。試験に合格した場合は、授業科目所定の単位が与えられます。試験は、それぞれの授業科目に応じて、筆記・レポート・論文・実習等によって行います。

1. 成績の評価の基準

各科目の成績は、100点満点とし、成績の評価は、次の基準により、科目担当教員が行います。C以上の評価を得たものに単位を認定します。D「不合格」の場合は、再履修することになります。

なお、講義科目及び演習科目の「再試験」(後述)の評価は、C又はDとします。

履修届を提出し、履修登録を行った授業科目について、授業・試験を放棄した場合は、再履修となります。

評価	成績	合否判定
A	100～80点	合格
B	79～70点	
C	69～60点	
D	59点以下	不合格
失格	単位認定要件を満たさない。	

【GPA (Grade Point Average : グレードポイントアベレージ) 制度】

GPとは各科目の成績(最終学修評価得点)から、下記のとおり算出された学生の成績評価値のことを指します。GPAは、GPの合計点を履修された単位数で除して算出されます。

本学では、必修科目、選択科目の別に限らず、すべての科目に対してGPが付与されています。

(1) GP

【令和6年度生以前】

評価	科目得点	GP
A判定	100～80点	3
B判定	79～70点	2
C判定	69～60点	1
不可	59点以下	0

【令和7年度生】

評価	科目得点	GP
S判定	100～90点	4
A判定	89～80点	3

B 判定	79～70 点	2
C 判定	69～60 点	1
不可	59 点以下	0

(2) GPA 計算式

$$\text{GPA} = \frac{[\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目の GP}] \text{の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数合計 (不可を含む.)}}$$

(3) GPA が適用されるもの

本学では、保健師課程選抜の条件設定（*詳細は保健師選抜説明会において説明）や卒業判定において適用されています。

また、その他にも各科目の適性に応じて、科目責任者が必要と判断した場合に、GPA が参考として適用される場合があります。